

OYANAGI MAGAZINE



小柳建設株式会社

会社概要

小柳建設株式会社

〒955-0047 新潟県三条市東三条 1-21-5

TEL : 0256-32-0006

URL : n-oyanagi.com

創業 : 1945 (昭和 20) 年 11 月

資本金 : 3 億円

代表者 : 代表取締役社長 小柳卓蔵

社是

義を見てせざるは、勇なきなり

経営理念

事業を通じて人類・社会の進化・発展に貢献すると同時に、
全従業員とその家族の物心両面の幸福を追求し、
誇りをもって会社を後世に伝えるものとする

事業内容

- 1 ・ 建設工事の請負、企画、設計、監理およびコンサルティング業務
- 2 ・ 不動産の販売、交換、賃貸、仲介およびその管理
ならびにコンサルティング業務
- 3 ・ 住宅の建設および販売ならびに土地の造成および販売
- 4 ・ 地域開発、都市開発、環境整備等の事業ならびに
これらに関する請負、企画、設計、監理およびコンサルティング業務
- 5 ・ 公共施設の管理、運営業務
- 6 ・ 遺跡・文化財の調査、測量、整理作業、報告書作成、保存活用、
支援業務ならびにコンサルティング業務
- 7 ・ 自然エネルギー等による発電事業およびその運営・管理
ならびに電気の供給、販売等に関する業務
- 8 ・ 機器、機械装置の製造、加工、卸、販売、賃貸
- 9 ・ 前各号に付帯する一切の業務

グループ会社

株式会社 Wisdom Holdings
株式会社 エステートコンサルタント
株式会社 Holostruction

許可関係

国土交通大臣許可 (特・般-29) 第 13415 号
一級建築士事務所 新潟県知事登録 (ハ) 第 4396 号
宅地建物取引業 新潟県知事 (2) 第 4894 号
測量業許可 登録第 (2) - 33094 号
古物商許可 登録第 461170001187 号
特定派遣業許可 特 15-300168
ISO9001:2015 (品質マネジメントシステム) ISOQAR7276
ISO14001:2015 (環境マネジメントシステム) ISOQAR7276
ISO/IEC27001:2014 (情報セキュリティマネジメントシステム) ASR J0362

変化を楽しもう。

現場百景 01

マンションを造るといふこと

近代的な建築技術の結晶のような高層マンションも結局は多くの人間の手仕事によって造られている。そしてその工事を管理するのもやはり人である。現場の責任者である笠原所長にその真髄を伺った。

建築工事は工種が多い

工用仮設エレベーターを降りると別世界だった。ここは神奈川県藤沢市に建設されている13階建てのマンション、その建築現場の最上部である。地上からの高さは約40m。足場で囲われているため展望はないが、周囲に同等の高さをもった建築物はなく、空が広く見える。まだ昇りきっていない太陽が長い影を作っている。鉄筋の骨組みをベニヤ板で囲ってそこにコンクリートを流し込んで壁などを作っていく型枠工事が佳境に入っているのだ。12階までは内装工事が進んでおり、あと半年ほどで竣工するという。

「建築工事は土木工事や舗装工事などと比べ、より多くの工種を必要とするのが特徴です。この型枠工事が終わると電気配線や給排水の配管、空調設備などの工事を行います」

笠原所長は入社20年目のベテランである。建築工事における醍醐味、そして大事なことは現場に携わる人との潤滑なコミュニケーションに尽きると続ける。「工種が多いという事は協力会社や職人さん等、多くの人が現場に出入りするという事です。当然、それを取りまとめる施工管理者には高いコミュニケーション能力が求められると思いますね。個人的には、相手の性格(個性)を尊重して、それに応じた接し方をするよう心がけています」

分譲マンションは発注者の依頼によって建設されるが、最終的には一般消費者へと引き渡される。こちらのマンションもすでにほとんどの部屋が売約済みだという。

「建物が完成し、足場を解体したとき初めて建物の全体像を皆様に公開できます。入居するお客様がそれを見て喜んでくれるのはやっぱり嬉しいですし、肩の荷が下りてほっとします」

お客様に満足してもらえるよう、外壁や床といった各部の仕様は充分な検討の上で決められている。建築工事ではこうした打ち合わせにかなりの時間を要することになるという。笠原所長は先進技術を取り入れた変化に大きな期待を寄せている。

「意匠や素材、色などを決めるときは、依頼主やデザイナーをはじめ、沢山の方のコンセンサスを得る必要があります。ホロストラクションが普及すればこうしたプロセスを一気に効率化できる可能性があると思います。それぞれの人がサンブルを実際に手に取って確認しなくても、正確なシミュレーションができる」

更地だった場所にひとつのマンションが完成する。そのすべてのプロセスに携わるのは施工管理者の笠原所長だけだ。「それが醍醐味です。担当した建築すべてが自分にとって特別なものです」

568日にもおよぶ工事を経て、もうすぐこの地に新たなランドマークが完成しようとしている。

SYMPOSIUM

老若男女座談会 ①

0.2 建設業の昔と今で違うところは？

柿本 建設業界は、今までの『普通』に囚われてしまっている部分もあると思います。でも、小柳建設は違います。例えば、フリーアドレスを使用しているのなら必ずしも会社に出勤する必要はないと思うんです。当社は営業職だけではなく、現場の社員にもスマートフォンが貸与されているので、それはありがたいですね。どこに居てもチャットツールで迅速かつスムーズに情報共有ができるので。

多熊 teamsをはじめ、新しいツールを使うことに抵抗感がある方もまだいますね。しかしながら、最近はメールや電話でのやりとりをなくし、WEB会議を積極的に利用することで、業務生産性が大きく向上しました。社員同士で協力しながら、IT化をさらに加速出来ればと思っています。

池田 IT化が推進することによって、在宅勤務がもう少し進んで良いと思いますね。どうしても難しい業態ではあると思いますが、建設業という縦社会のイメージが強いですが、小柳建設では年功序列ではなく、それぞれの特性を活かした人員配置がされるように変わってきたと思います。

WEB会議を積極的に利用することで、業務生産性が大きく向上しました

当社のような成果主義を採用しているところはまだ珍しいんだと感じました

新しいコト・モノを柔軟に受け入れられるようになって欲しい

小柳建設では幅広い世代が一緒になって活躍している。働き方やコミュニケーションに関する意識の違いを、若手社員とベテラン社員に語ってもらった。

0.1 若手社員とベテラン社員
どんな部分でギャップを感じますか？

多熊 私は普段から若い方と一緒に仕事をすることが多いせいか、際立ったギャップを感じることはほとんどないです。

池田 ベテランと若手がそれぞれの得意分野を活かしながら仕事をする感じですね。やっぱり現場の作業ではベテランの豊富な経験が頼りになるんです。一方で、若手は全般的にITリテラシーが高いのでソフトが新しくなったりした際などはベテランの方をフォローするようにしています。

柿本 当然、人事制度についての認識も世代によって差があると思います。別の会社に勤める友人が年功序列の制度に憤っていて、当社のような成果主義を採用しているところはまだ珍しいんだと感じました。

0.3 今後、建設業に
どのような変化を生みたいですか？

池田 僕はもともとHolostructionに大きな可能性を感じて小柳建設に就職したんです。AIとロボット技術によって作業効率と安全性を向上させたい。こうした新しいテクノロジーを積極的に取り入れることで若い世代が建設業に抱く「古い」というイメージを変えていければと思います。建設業に従事するすべての人の意識が変わり、新しいコト・モノを柔軟に受け入れられるようになって欲しいです。

多熊 このままIT化をさらに進めていきたいですね。すでにペーパーレス化やWEB会議の導入などで作業効率の向上やコスト削減といった明らかな効果が出ているので、この流れを止めず、今後も変化し続けたいと思っています。

柿本 小柳建設では「楽しみながら変化」することでスムーズな働き方や業務の効率化を実現することができました。建設業でも時代に適応して自ら変化できるんだという事を、若い世代をはじめ、世間一般の方にも広く知ってもらい、従来のイメージを変えていきたいですね。

経理部
多熊友 Yu TAGUMA

売上管理や資産状況のチェックなどの経理を担当。経営会議等で必要とされる数値の算出や分析も行う。28歳。入社7年目。

PR部
柿本優衣 Yui KAKIMOTO

新卒・中途の採用業務に携わる。その他に社内広報誌の作成も行っている。26歳。入社4年目。

土木工事部
池田雅也 Masaya IKEDA

土木工事の施工管理者として勤務。リクレーターとして新卒の採用業務にも携わっている。23歳。入社3年目。

SYMPOSIUM

老若男女座談会 ②

Q.2 建設業の昔と今で違うところは？

青木 コミュニケーションのあり方ではないでしょうか。昔はミスをした際に怒鳴られることも多かったと聞きました。これからの建設業はどのような方法でコミュニケーションをとっていくのがよいのでしょうか？

川崎 工事現場では些細なミスが命に関わる事故につながることもあるから、強く注意することもあります。お互いに信頼関係が成り立っていることが前提ですね。

関 過去の経験から、「褒めて伸ばす」を若者と接するときの基本にしています。「●●さん、さすがだねえ」なんてよく褒めてますが、相手がすごく喜んでくれるのでこちらも良い気分が仕事のできるのです。

山岸 私はとにかく書類が多いことに驚きました。手書きで作成するのが大変なのはもちろん、保管されているファイルの中から必要な書類を見つけ出すのにも時間がかかる。

青木 その辺りはここ数年ですごく変わってると思います。データ化される以前は印刷代だけでもかなりのコストがかかっていました。文書の誤りに気付かず印刷してしまって怒られた苦い経験があります。

専門工事部
関孝之 Motoyuki SEKI
舗装工事のスペシャリスト。現場で工程や品質、安全、原価の管理を行う。施工管理者の経験が長く周囲からの信頼も厚い。38歳。入社21年目。

過去の経験から、「褒めて伸ばす」を若者と接するときの基本にしています



地域や若い世代へオープンな職種であることを広くアピールして人材確保につなげられれば



専門工事部
山岸ほのか Honoka YAMAGISHI
以前は施工管理を行っていたが、重機のオペレーターになりたいと希望し、専門工事部へ異動。現在は土木工事と建築工事の現場にて作業を行う。23歳。入社3年目。

Q.1 若手社員とベテラン社員 どのような部分でギャップを感じますか？

山岸 やっぱりベテランの方とは経験値に大きな差があるので、ひとつの言葉からイメージする範囲や深みが全然違いますね。現場の先輩からはとても丁寧に教えてもらっていますが、専門用語など、疑問に感じたことはすぐにネットで検索するように心掛けています。

関 もう20年前になりますけど現場で先輩から「掛矢（かけや）持ってこい」と言われ、意味が分からず戸惑っていたら、バカヤロー！ って怒鳴られたことがあります（笑）。さすがに現在はそれぐらいで怒るような人はいませんけどね。

川崎 今の若い子は「分かりません」と素直に口にしないケースも多いような印象です。分からないのに何となくやろうとしてしまう。もちろん今はネットを使って調べることもできますが、個人的には人から直接教えてもらった方が身に付きやすいような気はします。

青木 建設業に限らず、上の世代では残業や休日出勤をすることに抵抗のない方も多いと思うんです。しかし、当社は世代交代によって役員の価値観がアップデートされて、残業や休日出勤を極力しないようにという雰囲気になりましたよね。

Q.3 今後、建設業にどのような変化を生みたいですか？

関 建設業はよく3K（きつい・汚い・危険）なんて言われますけど、新3K（給料・休日・希望）に変えていきたいと思っています！ 実際、私の現場ではマシンコントロール技術の進化によって重機を用いた施工作業が簡略化され、労務費の削減や安全性が向上しています。

山岸 男性中心の業界というイメージを変えたいですね。地域や若い世代へオープンな職種であることを広くアピールして人材確保につなげられればと思います。

川崎 やっぱり若者に魅力を感じてもらえるような業界にならなければ明るい未来はないと思います。給与面は安定しつつ、新しいことに積極的にチャレンジできるような風土を築いていきたいですね。

青木 IT化による効率化で残業時間は確実に減ってきているので、このまま誰もが平等かつコンスタントに休暇を取得できる業界に変えていきたいです。あとは若手の技術者が増えるような取り組みにもチャレンジしていきます。

技術部
川崎雅人 Masato KAWASAKI
図面の作成、工事の施工計画に携わるほか、品質向上のため各現場の指導を行う。Holostructionの開発にも携わる。42歳。入社21年目。

新しいことに積極的にチャレンジしていく風土を築いていきたいです



このまま誰もが平等かつコンスタントに休暇を取得できる業界に変えていきたいです



PR部
青木悠 Yu AOKI
小柳建設の活動や取り組みを社内、社外に向けて発信する広報業務を担当。28歳。入社5年目。

現場百景 02

難しい現場には意義がある

新潟県新潟市を起点に福島県いわき市へと至る
総延長約302kmの国道「289号線」。

その一部に現在も車両の通行を阻む難所がある。

一大事業に取り組む施工管理者に話を聞いた。



一般車両は進入できない工用の仮

設道路を走ること約30分。国道289号の現場に到着するとコンクリート製の巨大な橋脚がそびえ立っていた。その両脇には急峻な山があり、その斜面にもコンクリート製の構造物が建設されている。橋の両端を支持する基礎となる「橋台」だ。小柳建設はこの工事を請け負っている。

「ご覧の通り険しい現場なので、様々な制約の中で工事を進めることになりました。例えばコンクリートを打つにしても場所が狭いので1台しかポンプ車を入れることができない。そのためどうしても平場の工事に比べて時間がかかってしまうんです。この辺りは日本有数の豪雪地帯なので、作業ができるのは11月いっぱい

いまで。時間との勝負ですね」

工事関係者でなければまず目にすることはないであろう非日常的な風景を背に、施工管理を担当する八木澤太郎所長は淡々と語った。

国道289号線のうち、新潟県三条市と福島県只見町を結ぶ区間は「八十里越え」と呼ばれる古くからの交通の難所だ。戦国時代には物資の輸送などで使われていたが、大正時代に物資輸送の主流が鉄道へ移り変わったことで廃れたという。現在は約20kmにわたり一般車両の通行ができない区間が存在する。

そんな八十里越えの車両不通区間を解消すべく道路改築事業が始まったのは何と今から約30年前。1989年のことだ。一般的な感覚とは大きく隔たる、

かくも壮大なチームの公共事業である。

ここが完成すれば、国道252号を経由する現行のルートより、所要時間が約半分に短縮されるという。

「公共工事なので、社会的な意義はやっばり意識しますし、意欲につながりますよね。ここが開通すれば地域経済が活性化したり、救急医療体制がより良くなる訳ですから」

八木澤所長の指揮のもと、約50ページにも及ぶ工事図面に従い工事が進められる。

「こういった現場は二にも三にも綿密な計画が大事です。ルールさえしっかりとか敷かれていれば、我々はその上を走るだけですから。ただ、自然が相手の土木作業ですからね。実際にやってみないと分

からないことも多々あります」

町から遠く、インターネットはおろか、携帯電話の使用すらままならない山奥の現場。こうした現場の様子をホロストラクションで広く共有できれば、そのメリットは計り知れないと語る八木澤所長。

「効率的に動かないと移動だけで1日終わってしまうような現場ですからね。変化はぜひ期待したいところです。ここは平場の現場に比べて難しい反面、やり遂げたときの達成感も格別。人生でそう何度もない大仕事だと思います」

秋になると、周囲の山々が紅葉に染まり、それはそれは美しい風景に変わるという。

小柳ボイス

OYANAGI VOICE

変化を恐れずチャレンジする社員が一丸となることで、小柳建設の事業が支えられています。3年後の自分は、どう『変化』していきたいのか？目標を描いてみました。



井口豊全
Toyoki IGUCHI

「ものづくり」を楽しんでいる
たくさんの人たちと知り合い
協力し合いながら考えたことを
形に残していく。



高橋徹
Toru TAKAHASHI

3年後...65才!!
我々発展途上
我々進化中!!
あと15年は増えるかな?



石附実桜
Mio ISHIDUKI

若手現場代理人のE-ス!!!
一度は工事管理技士の資格を取り、
日々勉強と頑張ります。
そして、女性の強みを生かした現場管理を
していきます。



小松正博
Masahiro KOMATSU

優良工事常連業者に!
国や県の発注工事において、
毎年コンスタントに高得点を連発し、
全国有数の優良工事常連業者に
なる!!



高坂美保
Miho TAKASAKA

花粉媒介者を保護する
土地の手入れをして
ミツバチの好む植物を
天気と育てる土日を過ごしている



小林敬行
Takayuki KOBAYASHI

笑顔
家族揃って、手ごねで
筋肉体操
心身ともに健康なチームになる!



吉田康
Yasushi YOSHIDA

Holostruction
...という言葉が世界中の
建設現場で当たり前になり
発せられる時代を作る!



競みづき
Mizuki KISO

お客様満足度100%!!
どんな環境、どんな仕事でも
期待以上のパフォーマンスを
発揮して、競い合おう!!
そして、競い合おう!!
と、思っているから頑張っている。



澁谷高幸
Takayuki SHIBUYA

変化の挑戦と続ける
環境は変わり続けるだろう
その環境に適合している事が
安心だなと思う
進化の歩みと続けるための



笛木洋輔
Yosuke FUEKI

浸透営業のスキル
向上・進化
当社の浸透技術を全国へ普及させ、
近年増大する自然災害対策に
チャレンジし続ける



難波健二
Kanji NANBA

総合建設業の営業の
プロフェッショナルになる
建築だけでなく土木も
分かるマルチ営業マンを
目指す



山田武
Takeshi YAMADA

誇れる安全指導者になる!
豊富な安全知識と指導経験を
活かし、現場事故ゼロ達成・
継続に貢献している。



坂上幸子
Seoniko SAKAGAMI

新しい働き方の実現!
データ化し、その仕組みを確立し
誰もがどこでも
仕事ができるようになる。



酒井祐一
Yuichi SAKAI

目標達成が当たり前の
土木工事にむか!
技術・情報を常にアップデートして
効率化・稼働現場を増やす!



ヴーダンクエット
VU DANH QUYET

日本語はN3合格するまでに
毎日日本語を勉強します。
N3合格



阿部優子
Yuko ABE

交渉人になる
上司の交渉術を盗むことに加え、
自身で交渉術を学ぶことにより
年間1億円の調達案件を
任せられるようになる!



大桃諒介
Rosuke OHMOMO

現場で頼られる
安全指導者になる!
現場を進めたい以上安全は第一
事故・無事故・無災害が常に達成
できる現場代理人になる。



吉田浩司
Koji YOSHIDA

新しい事に挑戦する!
新しい情報を取得し、
そこで得られた経験・知識を
チーム内で活用!
よりよいやり方を常に模索し、
成果を出す。



レーバータム
LEIBA TAMM

信頼される施工管理者に!
日本語はわかる人、施工管理に力を入
知識を身につけ、自分が担当の仕事
を完璧に完成させる。



関根慎二
Shinji SEKINE

66才
元気で会社の
ために働く!!



青野鉄平
Teppei AONO

人を惹きつける現場代理人!
建設業の魅力が詰まった現場を作って
しっかり休んでいこうぞ!



渡邊重樹
Shigeaki WATANABE

判断力、決断力、信念に
溢れた、建築部門の
リーダーになる!



和田博司
Hiroshi WADA

Giver(与える人)になる
チーム(会社、部門、家族、友人、...etc)
に対して、"Giver"になる!
そのために挑戦し続け、自らの成長を
止めない!



五ノ井稔
Minoru GONOI

技術も継承する
時代の変化に対応し、過去の先輩が
築き上げた歴史・地盤を守りつづける
小柳建設ここにあり!

小柳ボイス

OYANAGI VOICE

土木工部部



高野竜輝
Tatsuki TAKANO

対応力のある技術者になる
進んでいく現場のIT化に
対応できるように常に新しい
技術を取り入れて工事を進める。

専門工部部



蝶名林潤
Jun CHONABAYASHI

新潟一の高給取りになる
専門技術が主体の存在になる
克己利益と貢献する。
物心両面の幸福を成す!

建築営業部



西澤由佳里
Yukari NISHIZAWA

営業部の
エースになる!
追いつけている案件を確実に
受注に結び付けられる営業マンになる。

積算部



森田幸雄
Yukio MORITA

積算とBIMの連携
最新技術を使いこなし、
設計〜積算の効率化を図る。

建築工部部



広井夢輝
Yumeki HIROI

頼られる現場代理人になる!!
日々図面や資格の勉強として、協力業者の方から
まいつに任せたら安心だ!!と喜ばれる現場代理
人になる。

積算部



高橋太弦
Tatsuru TAKAHASHI

麺がため大油
やると決めたら強い意志を
もって汗をかき、やりきる自分になる。

営業管理部



川崎一英
Kazuhide KAWASAKI

もっと若手を育成
今以上に後進の指導力を入れたら
自分のスキルを百分百教える。
それによって学ぶことがある。

建築工部部



長谷川廉
Ren HASEGAWA

「現場のマスター工程表を作成する」
工程を把握し、スムーズに
現場を動かせる状態にする。

積算部



岩澤篤志
Atsushi IWASAWA

元気に生きる
毎日、仕事が出来ると、健康な体
があること、3食とり、十分な睡眠
をとり、そして、心と体と頭を良く
動かす事

専門工部部



西村孝平
Kohei NISHIMURA

進化するオッサン
希望を持つ
技術継承だけではなく、自分メンテ
ンスを張り、後進技術の発展に貢献する
ことで若い人も向上出来ることに
希望をもつ

PR部



堂谷紗希
Saki DOTANI

人材育成のプロ集団になる!
小柳で働けばどこに行っても通用する
と実感してもらえる職場を作り、
成果を出せる人材を量産する

土木工部部



長谷川輝
Aira HASEGAWA

技術士の資格を取得する
高い専門知識を獲得することと
維持管理業務における対応力、応用力を向上させる。

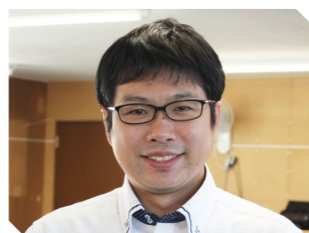
建築工部部



櫻井謙
Yuzuru SAKURAI

設計業務もできる管理者になる!
加茂本店新築工事施工に携わることで
着務所建築設計の知識考え方を学び、
施工的思考も、自分の持っている
技術を活用して、合理的な設計ができる。

調達部



宮澤宜宏
Yoshitomo MIYAZAWA

利は元にある
責任感を持ち、常に明るく
振る舞い、周りを気遣い、純粋に
小柳建設の仕入先(協力企業)様と
エンジニアと同一歩調で大切に
し続ける。

土木工部部



高橋信人
Nobuo TAKAHASHI

家族を大切に
技術者になる!
残業ゼロ・週休二日
有給取得100%
家族との時間を大切に技術者になる

調達部



岡橋亜記子
Akiko OKAHASHI

柔軟性
どんな状況下でも仕事か
出来るよう業務改善を繰り返して
テレワークで契約書発行

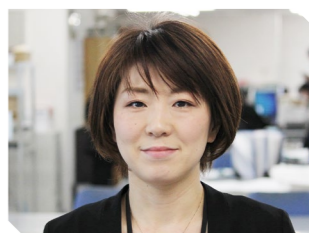
土木工部部



田中利栄
Toshiaki TANAKA

新潟トップの優良企業に入る。
国土交通省 新潟県 工事完成積
トップになり、働き方改革にお
ける業務の効率化も行う。
企業イメージアップする。

建築営業部



平山和子
Kazuko HIRAYAMA

企画開発事業を
事業基盤に!
裨設業にサテライトオフィスを導入し、
着衣に実績を積み重ねることで仕事を楽しく!

専門工部部



秋山裕亮
Hiroaki AKIYAMA

公私ともに充実
子供3人
大家族になる。

建築工部部



今井直行
Naoyuki IMAI

誰か信頼できる存在に!
現場所長として
地域、会社に貢献している。

専門工部部



井出光
Akira IDE

誰もが働きたい会社にする。
4-ムで目標達成の喜びが「あう風土」
安定した業績を上げる「力」を
付ける!

土木工部部



梅川大輔
Daisuke UEMAKAWA

IT技術を活用して現在より2倍仕事する!
IT技術の進歩に伴って
仕事のスピードアップ
時間を短縮して
仕事量、売上げ2倍。

総務部



石塚久美
Kumi ISHIZUKA

資格取得に挑戦!
自分自身のスキルアップの為
「1級建設業経理士」を
取得する

建築工部部



丸山流清
Ryusei MARYAMA

一人前の現場所長
経験・知識を身につけ
1億円以上の現場土
まともな収入を得る。

～ OYANAGIの女性の力～



WOMEN'S POWER

入社してからのご自身の変化について



インベーション推進部
長橋 杏奈 Anna NAGASHI

うに頑張っています。子供の体調不良などで急にお休みしなければならぬケースもあります。が、そういうときは同じ部の方にサポートしてもらっています。

伊原 オフのときでも工事現場の前を通ると思わず「どこが施工しているのかな」と見ちゃいますね。入社するまでそんなこと気にしたことがなかったんですけど(笑)

南澤 それ分かります。私は休日に同期と一緒にうちの会社の工事現場を見学しに行ったこともあり。内勤をやっているうちにどうしても工事の進捗を自分の目で確認したくなって(笑)

長橋 すこし話はそれですけど、会社で「女性パトロール」というのがあるんです。女性社員のグループで現場を見て回り、意見や要望を聞き取り組みです。例えばトイレに鏡を付けて欲しい等、女性目線では気が付かない部分ってどうしてありますからね。

建設会社の一般的なイメージとは異なり、小柳建設では多くの女性社員が活躍している。そして彼女たちもまた「変化」の途上にある。IT化を進めたことで何が変わったのか？ 家事や育児をはじめ、多忙な日常と業務をどのように両立させているのか？

IT化によってどんな変化がありましたか？

南澤 「Teams」などのグループチャットを活用することで格段に便利になりました。電話と違っていつでも連絡できますし、記録も残るのでトラブルも起きにくい。写真等をアップして共有できるのもとても効率的です。

長橋 私が所属するIT部門でも、チャットボットを導入したことで社内の問合せ電話が劇的に減りましたね。もともと電話による問合せはものすごく多く、しかも1回の電話で30分から1時間ぐらい対応することも珍しくなかったんです。現在はよくある質問はチャットボットが自動で対応するため、時間を有効に使えるようになりました。

栢森 情報の伝達や共有が正確かつ素早く行えるようになったことが大きな変化です。プロセスが可視化されることで、業務の成果も分かりやすくなりました。

伊原 私は労務管理を担当していますが、2年ほど前から「Smarter」というシステムを使って各社員の情報を管理することで、年末調整にかかる時間が大幅に短縮されました。こうした時間のコストを削減できるようになったことが、IT化による大きな恩恵だと思っています。あと紙

の利用も減りました。文書はプリントせずにデータで保存し、FAXもPC画面で確認しています。



総務部
南澤 春香 Haruka MINAMIZAWA

家庭と仕事の両立はできていますか？

長橋 部の目標に残業ゼロを掲げていることもあって両立できています。あわせてアフターファイブが充実していることも定時に退勤するひとつのモチベーションにつながっていると思います。

伊原 私の部も全員で残業ゼロに取り組んだことで、帰宅後に家事などをする余裕が生まれましたね。

南澤 短時間勤務の制度を利用しつつ、両立できるよ

職場で女性らしさを発揮できる瞬間は？



総務部
伊原 友恵 Tomoe HARA

伊原 育児休暇を取得していた女性が復帰する際などには自分が率先して連絡を取り合ってフォローするようにしています。やはり女性同士の方が相談もしやすいと思うので。

南澤 私のいる総務部ではファイリング業務があります。女性が率先して行っているため、書類をため込まず、常にきちんと整理された状態をキープしています。何となくではありませんが、整理整頓は女性の方が得意な印象です。

栢森 女性に限らず、個々の「らしさ」を発揮できれば良いと思います。ただ、重いものは率先して男性に持ってもらいたいですね(笑)

最近の身の回りの変化を教えてください

南澤 同僚でもある夫が様々な資格を持っていることに触発され、私も建設業経理士の資格を取るために勉強しています。ちなみに育児中にも2級秘書検定の試験を受けて合格しました！

長橋 日報を作成するようになり、いわゆる「報・連・相」を従来よりもスムーズに行えるようになりました。1日の働きぶりを客観的に見直すことで、より効率的に働ける工夫が生まれるなど、生産性の向上に結びついていると思います。

伊原 COVID-19への対応について家族間で話し合い、仕事を含めたこれからのライフスタイルのあり方を共有しました。

栢森 私もCOVID-19の感染予防対策はしっかりやるようにしています。体調を常に整えておくことはもちろんですが、空気清浄機も2台購入しちやいました(笑)。



社長室
栢森 泰子 Yasuko KAYAMORI

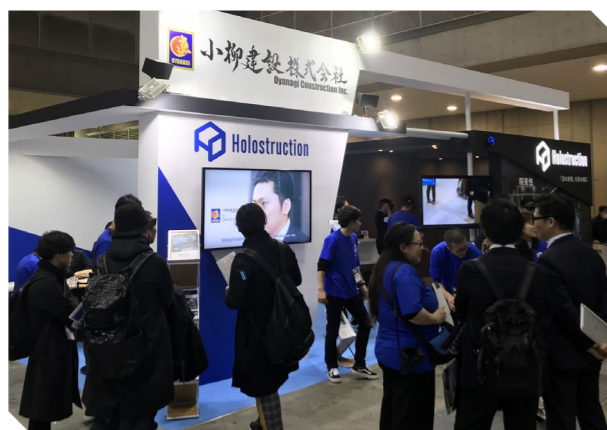
あらゆる人々の生活基盤を支えるのが建設業の役割です。したがってその担い手である建設会社も、性別や年齢に関わらず活躍できる場所であることが理想ではないでしょうか。女性ならではの視点や気付き……これからの時代にフィットしたインフラを作っていくため、小柳建設では、多様な働き方をバックアップします。

HISTORY

会社変革史

2020年11月1日で創業75周年を迎えた小柳建設。創業時は材木業から始まり、建設業へ。そして浚渫技術の進化を経て、近年はIT技術の導入を積極的に進めています。施工技術も高く評価され、国土交通省北陸地方整備局 工事成績優秀企業・ICT活用工事成績優秀企業の認定を受けています。また、過去の浚渫技術開発をはじめとした新技術へ取り組み姿勢は脈々と受け継がれ、近年では「Holostruction」「All-sightel」の開発が進む要因となっています。

- 1945年 初代小柳肇が材木業として小柳組を創業
- 1947年 土建業を開業
- 1960年 組織を変更して小柳建設株式会社となる
- 1986年 新潟県内初のヘドロ浚渫・空気圧送工法を導入
- 1989年 初代小柳肇が会長に就任、二代目小柳直太郎が社長就任
- 2006年 皇居外苑千鳥ヶ淵浚渫工事を施工
- 2010年 ハッピーパートナー企業（新潟県男女共同参画推進企業）に認定
- 2011年 二代目小柳直太郎社長 建設業関係功労者等国土交通大臣賞表彰受賞
浚渫技術で新潟県知事表彰技術賞受賞
- 2014年 二代目小柳直太郎が代表取締役会長に就任三代目小柳卓蔵に事業承継
- 2015年 ベトナム実習生の受け入れ開始
- 2016年 新潟県内で初のラウンドアバウト（環状交差点）を施工
フルクラウド化によりIT環境が向上
- 2017年 プロジェクト「Holostruction」スタート
子供が病気の場合、休むことが出来る「子の看護休暇」制度が開始
社内の手続きへの質問に答えてくれるチャットボット運用開始
5連休の休暇取得を奨励する「リフレッシュ休暇」制度が開始
- 2018年 自社開発の経営情報、採算管理システム Backs運用開始
新ブランドムービー Build the Next編 発表
国土交通省建設現場の生産性を飛躍的に向上するための革新的技術の導入・活用に関するプロジェクトに「Holostruction」が採択
現場情報共有システム「All-sightel」が
国土交通省新技術情報共有システム「NETIS」に登録
経済産業省より「地域未来牽引企業」に選定
- 2020年 厚生労働省より「子育てサポート企業」に認定され、「くるみん」マークを取得
- 2021年 新加茂本店竣工



2018年 「Holostruction」展示会初出展



2017年 「Holostruction」発表



2016年 新潟県内初 環状交差点の施工



2006年 皇居外苑千鳥ヶ淵浚渫工事



2020年 「くるみん」マーク取得

TOPICS

トピック

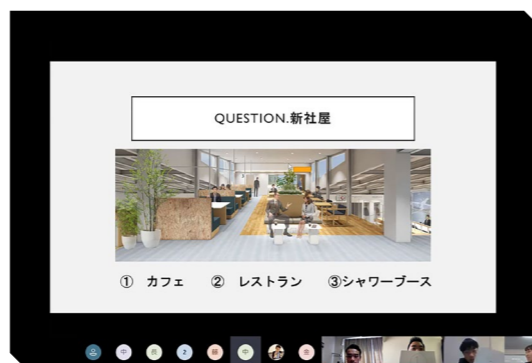
経営陣刷新により、 ボトムアップの風土醸成

2019年に経営陣の刷新があり、平均年齢43歳の経営陣となりました。若い世代の経営陣は、新しい働き方に柔軟に対応しています。その影響が大きくあるのは、従来はアナログでの業務が多かった建設業にIT技術の導入を進めている点です。その導入が進んだ理由として若手社員の意見を吸い上げ、経営に反映していくという仕組みが出来ていることです。「ボトムアップ」の風土で、社員全員が納得して働くことが出来る環境づくりを行っています。



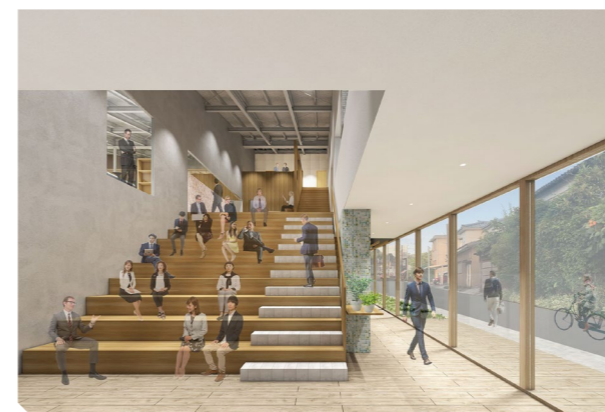
採用活動の全面web化

新型コロナウイルス感染拡大を契機に、採用活動の全面web化に切り替えを行いました。新卒採用における個別会社説明会、面接、中途採用における面接、学生に向けたインターンシップまで採用活動における全プロセスをweb化しています。その結果、目標の採用人数を達成することができています。



本店リニューアル

2021年1月、創業の地である加茂市に新社屋が完成。コンセプトは、『アイデアと成果を生むオフィス』。創造的な仕事で生産性が向上し、社会貢献を進め、人が育ち、全従業員が心身ともに幸福を感じることのできるオフィスを「カタチ」にします。我々の経営手法である「部門別採算制度の進化」と「IT技術の活用」により、各人が自分のアクティビティにより働く場所を選ぶことを可能にします。最大限の力を発揮できるようなオフィス環境となっています。



多数の認定・受賞実績

国土交通省発注工事の評定点が平均80点以上になると得られる工事成績優秀企業認定をはじめとし、新潟県 優良工事表彰や東京都 都市整備局 優良工事局長表彰など、工事成績に関する多数の実績があります。慢心することなく、着実に成果を積み上げ、地域のインフラ整備にこれからも貢献していきます。



MESSAGE

社長メッセージ

建設業だって 変化できる

小柳建設は1945年の創業以来、総合建設業として地域社会の発展に大きく貢献してきた。だが、いかなる伝統と実績を誇る会社であっても不変のまま、時代の波に抗い続けるのは困難である。代表取締役社長 小柳卓蔵が望む「変化」とは？

IT化で意識も変わった

建設業というのは、人々の暮らしに欠かすことのできない社会インフラを担い、情熱と誇りが感じられる職業です。しかしながら、いわゆる「3K」のイメージが強く、少子高齢化もあって人材の確保に苦勞しているのが現状です。私はそうした建設業に対する世の中の評価を覆そうと、これまで様々な取り組みを行ってきました。

私が小柳建設に入社したのは2008年です。それまでは金融業界に身を置いていましたが、目の当たりにした建設業界は様々な部分で遅れているというのが率直な印象でした。極端な例をひとつ示すと、当時は極めて重要な顧客データすら営業担当の社員が各々で管理しており、会社として一元化されていなかったのです。これはそれまで培ってきた私のビジネスの常識では考えられないことでした。

また、他の業界に比べてIT化が遅れていることも大きな懸念でした。建設工事というのは、ひとつの現場でも何百という契約が取り交わさ

れます。ところが膨大な枚数の書類は郵便やFAXを使って送付されていたのです。こうした極めて非効率なやり方を改善するだけで、建設業の労働環境はずっと良くなるだけではありません。昔ながらの考え方や風習が根強く残る建設業界において、構造を大胆に変革するのは容易ではありません。しかし、社長へ就任したのを機に社の方針としてIT化を押し進めることにしました。

まず行ったのが各データのデジタル化やクラウド化、そして社内コミュニケーションにチャットツールを導入するなど、業務をよりスムーズに行うための「手段」の改革でした。なるべく多くの社員にIT化によるメリットを体感してもらい、その有用性を理解してもらおうと思ったのです。

結果的に会社全体のITリテラシーは大きく向上し、現在では社員ひとりひとりが自動的に効率的な仕事のやり方を考えてくれるようになりました。他の業界から見れば当たり前のことも多いかもしれませんが、同規模の建設業界の中では大きなアドバンテージがあります。



ホロストラクションが描く未来

小柳建設がマイクロソフトと開発した「Holstruction（ホロストラクション）」が大きな注目を集めています。私は2016年の海外視察で「Microsoft HoloLens（マイクロソフト・ホロレンズ）」というデバイスと出会い、「これは建設業のためのものだ」と直感しました。なぜなら建設業の勤務が過酷とされる理由のひとつに、日中は現場を監督し、夜になると事務所で書類作成もしなければならぬという実態があったからです。事務所と現場の行き来や、顧客との打ち合わせなど、建設業ではそうした移動にもかなりの時間と労力を割かれるのです。Holstructionがあれば離れた場所においても正確な三次元モデルを共有することができ、移動

時間を大幅に削減することが可能です。

このHolstructionを通して、小柳建設は「建設ITプラットフォーム」としての確立を目指しています。Holstructionは建築や土木といった建設事業だけではなく、取引先の製造業でも広く活用できるのが特徴です。建築現場ではブロックやU字溝といったいわゆる二次製品も多く使用されます。今後、それらを製造する企業もHolstructionを取り入れれば、いくつものサンプルを手にとって決めていた選定のプロセスは大幅に効率化され、工事にかかるコストの削減、ひいては利益率の向上に結びつくことでしょう。

HolstructionのようなMR技術はまだ先端技術であり、建設業に限らず、実用化している企業はそう多くありません。その点において、小柳建設は業界の新たな未来を切り開き、世界のトップグループに並んでいるという自負があります。

目指すべきは施工管理者

小柳建設ではIT化と共に若返り化も進めています。取締役の平均年齢は43歳。これは建設業にあってかなり若い部類だと思います。また、若い社員を守るためパワハラをはじめとするハラスメントを絶対に許さないことを明確にしています。こうした取り組みによって労働環境は確実に改善されており、2018年から2019年にかけて、残業時間は50%も減少しています。

人材育成について、私たちはかねてから「施工管理者最強説」を提唱しています。ということかと言うと、建設業界において、マクロな視点やマネジメント、ビジネスセンスを養うには施工管理者を経験するのがもっとも近道なことです。施工管理者というのは「現場代理人」とも呼ばれます。誰の代理か？ もちろん社長の代理です。そして施工管理者のやるべき事は「工程」「品質」「安全」「原価」の管理です。じつはこれは経営者に求められるものとまったく同じ要素なのです。すなわち優れた施工管理者は優れた経営者になりうる可能性が極めて高いということです。社会人としてステップアップしたい方はまず施工管理者を目指してみてください。



代表取締役社長
小柳卓蔵
Takuzo OYANAGI

1981年生まれ。日本大学 法学部
法律学科卒業。金融業界で勤務の
後、2008年小柳建設入社。2014
年より代表取締役社長に就任。

SERVICE

事業案内

ROAD CONSTRUCTION

舗道事業

日々変化するニーズに対応出来る様、技術開発、技術者の育成を推進しています。平成28年2月に新潟県初の“ラウンドアバウト(環状交差点)”を施工し、安全性・円滑性・環境性に配慮した『道づくり』に携わることができました。地域の生活に密着した仕事で皆様が利用される交通インフラの整備に努めています。



CIVIL ENGINEERING

土木事業

河川、橋、道路、トンネル、給排水施設など、地域住民の安全を守り、暮らしを豊かにしてきた土木事業。創業以来、水害や震災からの復旧・復興に尽力するとともに、人々が暮らしやすい社会を作るためのインフラ整備を行っています。全国をフィールドに70年以上培った実績と最先端技術を駆使し、これからも地域の発展に貢献していきます。



DREDGING

浚渫事業

当社独自の泥土吸引圧送工法を用い、河川・湖沼に堆積したヘドロや土砂の浚渫を行っています。圧縮空気により高低差52メートル、圧送距離3.5キロメートルをパイプラインひとつで泥土を送る優れた工法で、日本各地様々な場所で採用いただいております。



BUILDING CONSTRUCTION

建築事業

高層マンション、教育施設、工場、事務所、商業系店舗、福祉施設、木造個人住宅など、あらゆる施工に対応いたします。建築物のデザイン～設計～施工まで、お客様のご予算、ご要望にきめ細かく対応できる豊富な人材を揃えております。また、雨漏り、壁の補修、屋根の修繕など、カスタマー工事にも素早く対応致します。



ARCHAEOLOGY

埋蔵文化財支援事業

試掘、発掘調査、整理作業、報告書作成など部分的な作業も含め、正確・繊細・スピーディーに埋蔵文化財調査を支援いたします。さらに、デジタルトレースやデジタル媒体を運用し、学校教育や観光資源の情報として活用していただけます。



HOLOSTRUCTION

Holostruction 事業

時間や場所にとらわれず、より効率的に工事を進めるため、建設現場の透明性、安全性、生産性の向上を目的として、Holostruction 事業をスタート。日本マイクロソフトと協業し、建設現場に特化したサービスを開発しています。私たちはHolostructionを通じて、建設現場の働き方を変えていきます。

